

## 2021年度

## 数 学

最初に、以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 問題冊子は監督者の指示があるまでは開かないで下さい。
2. 監督者の指示にしたがって、解答用紙に受験番号と氏名を記入してください。問題冊子は受験番号のみを記入して下さい。
3. 試験問題の内容に関する質問には応じません。それ以外の用事があるときは、手をあげて下さい。
4. 受験中気分が悪くなったときは、監督者に申し出て下さい。
5. 問題冊子および解答用紙は持ち帰らないで下さい。
6. 分度器、計算機は使用しないで下さい。ただし、定規は使用しても構いません。
7. とくに指示がない限り、円周率は $\pi$ を用いて下さい。

受 験 番 号	
------------------	--

1 次の問いに答えなさい。

(1)  $\frac{5}{4} - \left\{ -\frac{8}{3} - (-6^2) \times \frac{1}{8} \right\}$  を計算しなさい。

(2)  $-\frac{8}{9}xy^2 \times \left(-\frac{1}{2}xy\right)^2 \div \left(-\frac{4}{15}x^3y\right)$  を計算しなさい。

(3)  $\frac{3a-2b-5}{6} - \frac{5a-6b-7}{18}$  を計算しなさい。

(4) 連立方程式  $\begin{cases} 2x-5y=14 \\ 9x-4y=-11 \end{cases}$  を解きなさい。

(5)  $(x-7y)(x-5y) - 3(x-2y)^2$  を計算しなさい。

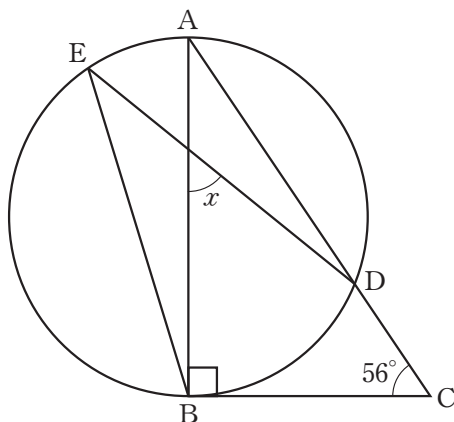
(6)  $9x^2 - 16y^2 - 6x + 8y$  を因数分解しなさい。

(7)  $\sqrt{48} - \sqrt{90} \div \sqrt{32} \times \frac{6}{\sqrt{15}}$  を計算しなさい。

(8) 2次関数  $y = -\frac{1}{3}x^2$  において、 $x$  の変域が  $a \leq x \leq 3$  のときの  $y$  の変域は  $-12 \leq y \leq b$  である。このとき、 $a$ 、 $b$  の値をそれぞれ求めなさい。

- (9) 袋の中に赤玉が5個，白玉が3個入っている。この袋の中から同時に2個の玉を取り出すとき，2個とも赤玉である確率を求めなさい。

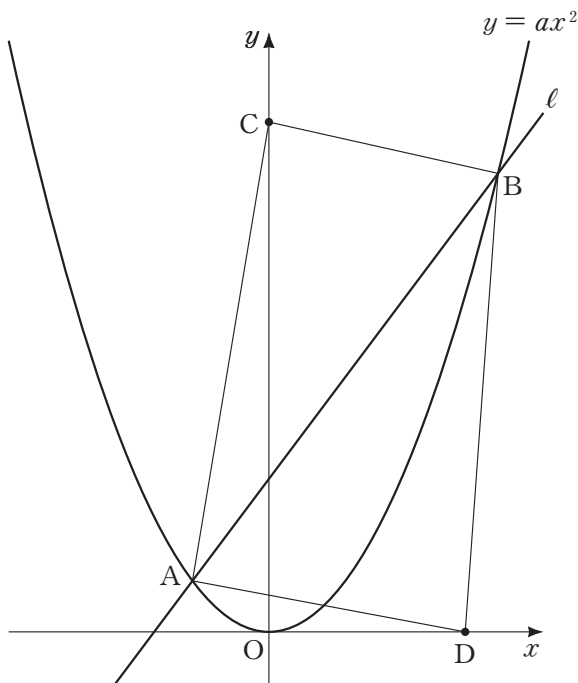
- (10) 図のように， $\angle ABC = 90^\circ$  の直角三角形 ABC があり，辺 AB を直径とする円と辺 AC との交点を D とする。点 D を含まない  $\widehat{AB}$  上に  $BE = DE$  となる点 E をとる。 $\angle ACB = 56^\circ$  のとき， $\angle x$  の大きさを求めなさい。



- (11)  $m, n$  をともに正の整数とする。 $\sqrt{\frac{20-m}{2n}}$  の値が正の整数となる  $m, n$  の組み合わせは何通りあるか求めなさい。

2 図のように、放物線  $y = ax^2$  と直線  $l: y = \frac{4}{3}x + 6$  が 2 点 A, B で交わっており、点 A の  $x$  座標は  $-3$  である。 $y$  軸上にあり  $y$  座標が  $20$  である点を C とし、 $x$  軸上にあり  $x$  座標が正である点を D とする。

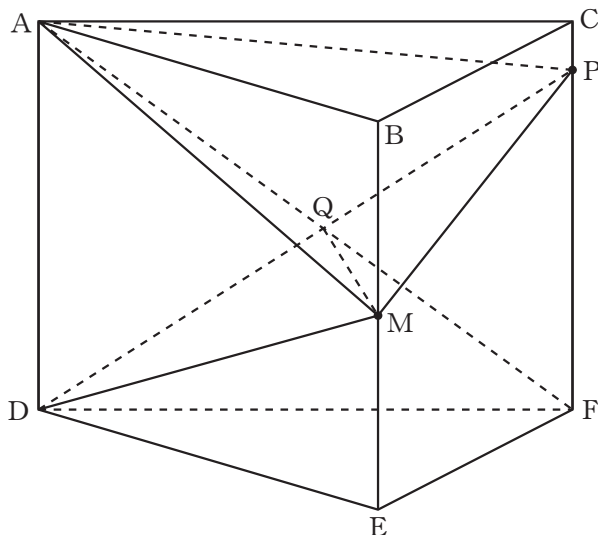
このとき、次の問いに答えなさい。



- (1)  $a$  の値を求めなさい。
- (2)  $\triangle ABC$  の面積を求めなさい。
- (3)  $\triangle ABC$  の面積と  $\triangle ABD$  の面積が等しくなるとき、直線  $BD$  の式を求めなさい。

3 図のように、 $AB = 8 \text{ cm}$ 、 $BC = 6 \text{ cm}$ 、 $AC = 10 \text{ cm}$ 、 $AD = 8 \text{ cm}$ 、 $\angle ABC = \angle ABE = \angle CBE = 90^\circ$  の三角柱  $ABC - DEF$  がある。辺  $BE$  の中点を  $M$  とし、辺  $CF$  上に  $\angle DME = \angle BMP$  となる点  $P$  をとる。また、線分  $AF$  と線分  $DP$  の交点を  $Q$  とする。

このとき、次の問いに答えなさい。



- (1) 線分  $FP$  の長さを求めなさい。
- (2)  $\triangle APQ$  の面積を求めなさい。
- (3) 四面体  $AMPQ$  の体積を求めなさい。

- 4 自然数の中には、9倍するともとの数と数字の並びが逆順になるものがある。例えば、ABCDE を5けたの自然数とすると、下のような計算になる。

$$\begin{array}{r} \text{A B C D E} \\ \times \quad \quad \quad 9 \\ \hline \text{E D C B A} \end{array}$$

このような自然数について、次の問いに答えなさい。

- (1) 次の文章は、「3けたの自然数で、9倍するともとの数と数字の並びが逆順になるものはない」ということの証明である。

ア にあてはまる式と、イ, ウ にあてはまる数をそれぞれ答えなさい。  
ただし、同じ記号には同じ数があてはまるものとする。

百の位の数字が  $a$ 、十の位の数字が  $b$ 、一の位の数字が  $c$  である3けたの自然数を  $N$  とすると、 $N = 100a + 10b + c$  と表せる。

$N$  を9倍して、もとの数と数字の並びが逆順になるとすると、  
 $9(100a + 10b + c) =$  ア が成り立つ。

これを整理すると、 $899a + 80b - 91c = 0 \cdots \text{①}$  となる。

①の左辺は、 $a = 1$ 、 $b =$  イ、 $c =$  ウ のとき最小となるが、  
①の左辺に、 $a = 1$ 、 $b =$  イ、 $c =$  ウ を代入すると、80となる。

よって、①の左辺が0になることはないから、①の等式は成り立たない。

したがって、3けたの自然数で、9倍するともとの数と数字の並びが逆順になるものはない。

(2) 千の位の数字が  $a$ ，百の位の数字が  $b$ ，十の位の数字が  $c$ ，一の位の数字が  $d$  である 4 けたの自然数を  $M$  とする。

$M$  を 9 倍すると，もとの数と数字の並びが逆順になるとき，次の問いに答えなさい。

①  $a, d$  の値をそれぞれ求めなさい。

②  $M$  の値を求めなさい。

〈解答欄〉

1	(1)		(2)		(3)			
	(4)	$x =$ , $y =$	(5)		(6)			
	(7)		(8)	$a =$ , $b =$	(9)			
	(10)	$\angle x =$ 度	(11)	通り				
2	(1)	$a =$	(2)	$\triangle ABC =$	(3)	$y =$		
3	(1)	FP = cm	(2)	$\triangle APQ =$ cm <sup>2</sup>	(3)	cm <sup>3</sup>		
4	(1)	ア	イ	ウ	(2) ①	$a =$ , $d =$	②	M =

受験番号	フリガナ	
	氏名	

得点	
----	--



〈解答欄〉

1	(1)	$-\frac{7}{12}$	(2)	$\frac{5}{6}y^3$	(3)	$\frac{2a-4}{9}$
	(4)	$x = -3, y = -4$	(5)	$-2x^2 + 23y^2$	(6)	$(3x-4y)(3x+4y-2)$
	(7)	$\frac{5\sqrt{3}}{2}$	(8)	$a = -6, b = 0$	(9)	$\frac{5}{14}$
	(10)	$\angle x = 51$ 度	(11)	12 通り		
2	(1)	$a = \frac{2}{9}$	(2)	$\triangle ABC = 84$	(3)	$y = 6x - 36$
3	(1)	FP = 7 cm	(2)	$\triangle APQ = \frac{56}{3}$ cm <sup>2</sup>	(3)	$\frac{448}{15}$ cm <sup>3</sup>
4	(1)	ア $100c + 10b + a$ イ 0 ウ 9	(2)	① $a = 1, d = 9$ ② $M = 1089$		

受験番号	フリガナ	
	氏名	

得点	
----	--

## 2021年度

## 数 学

最初に、以下の注意事項をよく読んで下さい。

1. 問題冊子は監督者の指示があるまでは開かないで下さい。
2. 監督者の指示にしたがって、解答用紙に受験番号と氏名を記入して下さい。問題冊子は受験番号のみを記入して下さい。
3. 試験問題の内容に関する質問には応じません。それ以外の用事があるときは、手をあげて下さい。
4. 受験中気分が悪くなったときは、監督者に申し出て下さい。
5. 問題冊子および解答用紙は持ち帰らないで下さい。
6. 分度器、計算機は使用しないで下さい。ただし、定規は使用しても構いません。
7. とくに指示がない限り、円周率は $\pi$ を用いて下さい。

受 験 番 号	
------------------	--

1 次の問いに答えなさい。

(1)  $-\frac{5}{6} - \left\{ -\frac{2}{9} - \frac{1}{12} \times (-3)^2 \right\}$  を計算しなさい。

(2)  $\frac{3}{8}x^2y \div \left( -\frac{5}{2}xy \right)^2 \times \left( -\frac{10}{9}xy^3 \right)$  を計算しなさい。

(3)  $\frac{2a-3b+1}{12} - \frac{a-3b-4}{6}$  を計算しなさい。

(4) 連立方程式  $\begin{cases} 7x-4y=34 \\ 6x+5y=-13 \end{cases}$  を解きなさい。

(5)  $(4x-y)^2 - 2(x-y)(x-3y)$  を計算しなさい。

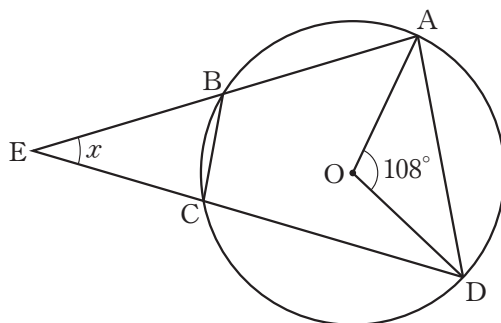
(6)  $x^2 + xy - 30y^2 - 3x - 18y$  を因数分解しなさい。

(7)  $-\frac{4}{\sqrt{8}} - \sqrt{14}(\sqrt{2} - \sqrt{28})$  を計算しなさい。

(8) 2次関数  $y = ax^2$  において、 $x$  の変域が  $-4 \leq x \leq 2$  のときの  $y$  の変域は  $0 \leq y \leq 6$  である。このとき、 $a$  の値を求めなさい。

- (9) 袋の中に1, 3, 5, 7, 9の数字が1つずつ書かれた5枚のカードが入っている。この袋の中からカードを続けて2枚取り出し、はじめに取り出したカードに書かれた数字を十の位、次に取り出したカードに書かれた数字を一の位とする2けたの整数をつくる。この整数が3の倍数となる確率を求めなさい。

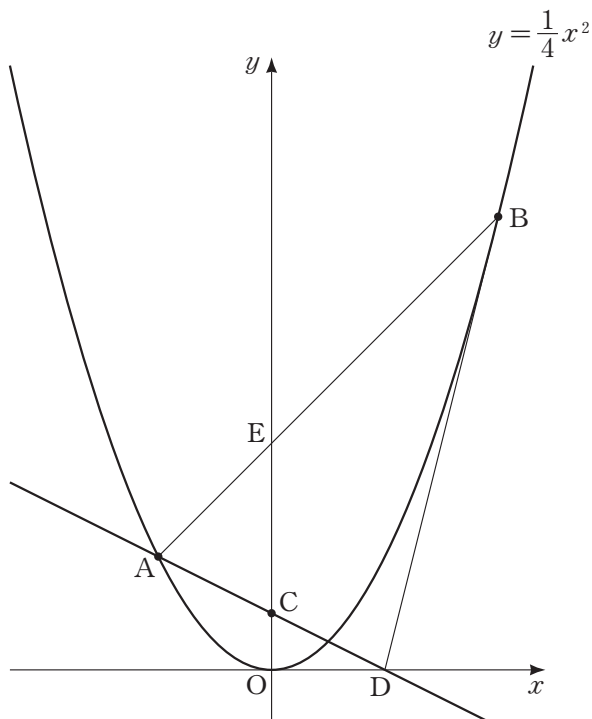
- (10) 図のように、4つの頂点が円Oの周上にある四角形ABCDがあり、 $\angle ABC > 90^\circ$ 、 $\angle BCD > 90^\circ$ 、 $\widehat{AB}:\widehat{BC}:\widehat{CD}=2:1:3$ である。直線ABと直線CDとの交点をEとする。 $\angle AOD = 108^\circ$ のとき、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。



- (11)  $m, n$  をともに正の整数とする。 $\frac{100 - m^2}{n} = 3$  を満たす  $m, n$  の組み合わせは何通りあるか求めなさい。

2 図のように、放物線  $y = \frac{1}{4}x^2$  上に 2 点 A, B があり、点 A の  $x$  座標は  $-4$ 、点 B の  $x$  座標は  $8$  である。 $y$  軸上にあり  $y$  座標が  $2$  である点を C とし、直線 AC と  $x$  軸との交点を D とする。また、線分 AB と  $y$  軸との交点を E とする。

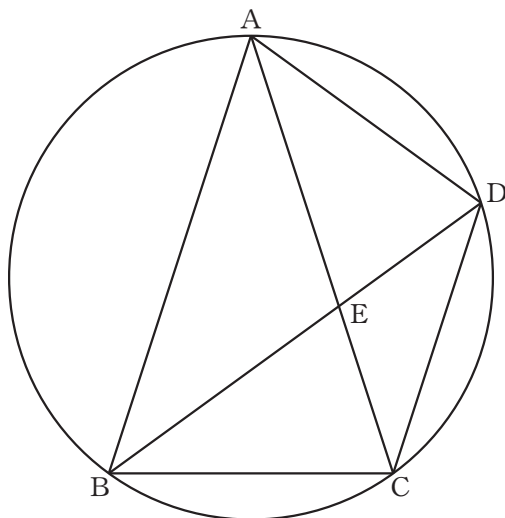
このとき、次の問いに答えなさい。



- (1) 点 D の  $x$  座標を求めなさい。
- (2)  $\triangle ABD$  の面積を求めなさい。
- (3) 点 E を通り  $\triangle ABD$  の面積を 2 等分する直線の式を求めなさい。

- 3 図のように、 $AB=AC$ 、 $BC=6\text{ cm}$ 、 $\angle BAC=36^\circ$  の  $\triangle ABC$  がある。3つの頂点 A, B, C を通る円の点 B を含まない  $\widehat{AC}$  上に、 $BC=CD$  となる点 D をとり、辺 AC と線分 BD との交点を E とする。

このとき、次の問いに答えなさい。



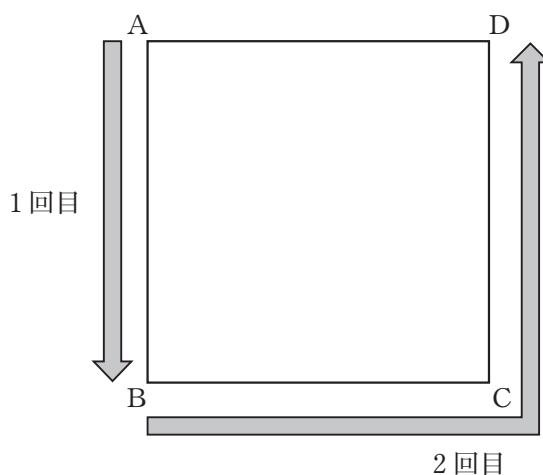
- (1)  $\angle AEB$  の大きさを求めなさい。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- (2) 辺 AB の長さを求めなさい。
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
- (3) 四角形 ABCD の面積は  $\triangle ABE$  の面積の何倍か求めなさい。

4 正方形 ABCD と、その頂点間を辺に沿って反時計回りに動く点 P がある。

点 P は、はじめ頂点 A にあり、1 回目の移動では、1 つ進んだ頂点 B に動き、2 回目の移動では、頂点 B から 2 つ進んだ頂点 D に動く。

以下、同様に  $n$  回目の移動では、 $n$  個進んだ頂点に動く。

このとき、次の問いに答えなさい。



(1) 7 回目の移動のあと、点 P はどの頂点にあるか答えなさい。

(2) 点 P が 3 回目に頂点 D にとまるのは、何回目の移動のあとか答えなさい。

(3) 2021 回目の移動が終わるまでに、点 P が頂点 C にとまる回数を求めなさい。

〈解答欄〉

1	(1)		(2)		(3)	
	(4)	$x =$ , $y =$	(5)		(6)	
	(7)		(8)	$a =$	(9)	
	(10)	$\angle x =$ 度	(11)	通り		
2	(1)		(2)	$\triangle ABD =$	(3)	$y =$
3	(1)	$\angle AEB =$ 度	(2)	$AB =$ cm	(3)	倍
4	(1)		(2)	回目の移動	(3)	回

受験番号	フリガナ	
	氏名	

得点	
----	--



〈解答欄〉

1	(1)	$\frac{5}{36}$	(2)	$-\frac{1}{15}xy^2$	(3)	$\frac{b+3}{4}$
	(4)	$x=2, y=-5$	(5)	$14x^2 - 5y^2$ 解答	(6)	$(x+6y)(x-5y-3)$
	(7)	$13\sqrt{2} - 2\sqrt{7}$	(8)	$a = \frac{3}{8}$	(9)	$\frac{3}{10}$
	(10)	$\angle x = 33$ 度	(11)	6 通り		
2	(1)	4	(2)	$\triangle ABD = 72$	(3)	$y = -\frac{4}{5}x + 8$
3	(1)	$\angle AEB = 108$ 度	(2)	$AB = (3 + 3\sqrt{5})$ cm	(3)	$\frac{3 + \sqrt{5}}{2}$ 倍
4	(1)	A	(2)	10 回目の移動	(3)	506 回

受験番号	フリガナ	
	氏名	

得点	
----	--